

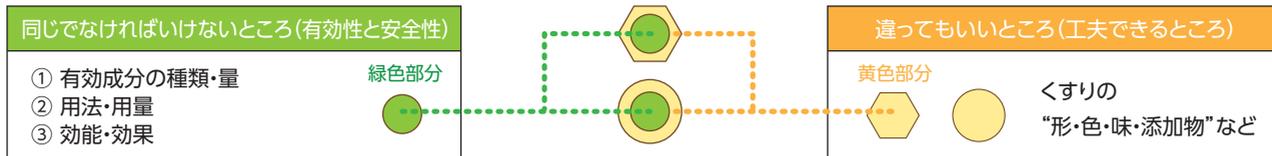
# 保健事業 の部屋

## ジェネリック医薬品は低コストだけではなく 利用者が薬を使いやすい工夫がされています!

ジェネリック医薬品は、味・匂い・大きさ・形状・包装などが飲みやすく改善されています

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は厚生労働省が先発医薬品(新薬)と効能および効果が同等と認めた薬品です。薬価の安さ(新薬の2~7割)だけでなく、先発医薬品よりも飲みやすく改良したものが多くあります。

### 「ジェネリック医薬品」と「先発医薬品」の同じところ、違うところ



### ● ジェネリック医薬品のさまざまな工夫点

口腔内崩壊錠化	口の中ですみやかにとけるため、水なしでも服用可能
微粒子化	飲んだときのざらつき感などを抑えるため、粒子を小さく加工
耐湿性	一包装調剤(1回服用分を分包)に対応して耐湿性と安定性をアップ
味	ドライシロップなどは飲みやすさに配慮して苦みをマスクするなど味・匂いを工夫

### ~Point!~

ジェネリック医薬品は、先発医薬品と異なる添加剤を使用する場合がありますが、医薬品に使用する添加剤は有効成分の薬効をさまたげるものは使用していません。使用前例があり、安全性が確認されている添加剤が使用されています。添加剤が異なっても、基本的に効き目や安全性に影響はありませんのでご安心ください! ただし、アレルギーをお持ちの方は、ジェネリック医薬品、先発医薬品を問わず、添加剤の中でアレルギーを起こすものがあるかもしれませんので、医師や薬剤師に相談してくださいね。

※詳しくは「ジェネリック医薬品への疑問に答えます~ジェネリック医薬品 Q&A~」(2015年2月厚生労働省)を参照願います。

### NTT健康保険組合の薬剤費について

ジェネリック医薬品を利用することで皆さまの薬剤費の負担が軽くなるとともに、NTT健康保険組合の財政赤字を防ぎ保険料上昇の抑制にもつながります。皆さま、ご協力をよろしく願います。



### 《一人あたりの薬剤費の推移》



ジェネリック医薬品に切り替えが可能であるにもかかわらず、先発医薬品を長期にわたり服用されている方へは、皆さまのご負担がどれくらい軽くなるのかわかる「差額通知書」をご自宅へお送りしています。

また、服用期間が短い方には「差額通知書」をお送りしていませんが、ジェネリック医薬品を利用いただくと薬剤費負担の軽減や健保財政の改善につながりますので積極的な利用をお願いします。